

2020年1月31日

組織改編の件

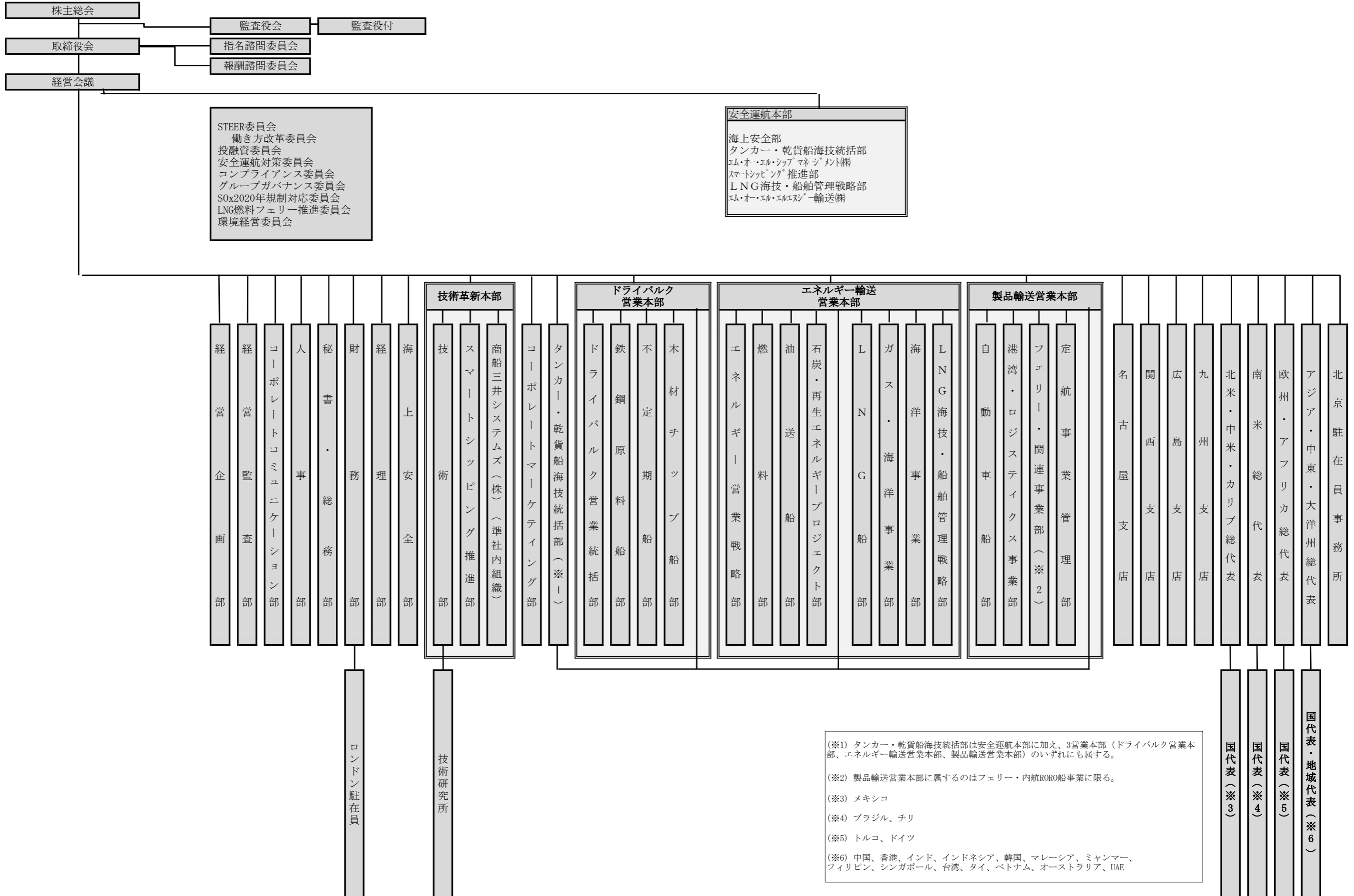
株式会社商船三井（社長：池田潤一郎、本社東京都港区）は2020年4月1日付で組織改編を行いますのでお知らせ致します。

- 1. チーフエンバイロメント・サステナビリティオフィサーを設置**
当社グループの環境戦略を強力に推進し、事業を通じたSDGsへの貢献に向けた戦略立案・施策実施を統括する職として、サステナビリティ推進担当執行役員を改称し、チーフエンバイロメント・サステナビリティオフィサー（英文名：Chief Environment and Sustainability Officer）を設置します。なお、環境戦略推進に関連する業務を新規・環境事業推進部から経営企画部に移管し、その一層の強化を図ります。
- 2. チーフデジタルオフィサーを設置**
当社グループのデジタルマーケティングの戦略立案・施策実施を統括し、営業部門担当執行役員に必要な助言を与える職として、チーフデジタルオフィサー（英文名：Chief Digital Officer）を設置します。
- 3. ガス・海洋事業部の設置**
ローリングプラン 2019 で経営資源の重点投入分野としている海洋事業の強化を加速させるため、ガスバリューチェーンに関連する事業（FSRU事業、LNG発電船事業等）に特化した組織として、ガス・海洋事業部を新設します。海洋事業部はFPSO事業、シャトルタンカー事業、サブシー支援船事業等の原油分野に専門的に取り組む組織とします。
- 4. 石炭・再生エネルギープロジェクト部の設置**
石炭・エネルギープロジェクト部に洋上風力発電関連事業の機能を集約し、石炭・再生エネルギープロジェクト部と改称し、環境・エミッションフリー事業への取り組みを強化します。
- 5. フェリー・関連事業部の設置**
グループ経営強化のため、フェリー事業をはじめとするグループ関連事業に取り組む組織として、フェリー・関連事業部を設置し、新規・環境事業推進部を廃止します。
- 6. 油送船部の設置**
油送船一部と油送船二部の機能・知見のシナジーを高め、新たな成長を実現するため、両部を統合し、油送船部を設置します。

2020年4月1日以降の各営業本部の構成は下表の通りです。下線部が今回の組織改編に伴う変更です。

ドライバルク営業本部	ドライバルク営業統括部 鉄鋼原料船部 不定期船部 木材チップ船部 タンカー・乾貨船海技統括部
エネルギー輸送営業本部	エネルギー営業戦略部 燃料部 <u>油送船部</u> <u>石炭・再生エネルギープロジェクト部</u> タンカー・乾貨船海技統括部 LNG船部 <u>ガス・海洋事業部</u> 海洋事業部 LNG海技・船舶管理戦略部
製品輸送営業本部	自動車船部 港湾・ロジスティクス事業部 <u>フェリー・関連事業部</u> 定航事業管理部 タンカー・乾貨船海技統括部

以上



(※1) タンカー・乾貨船海技統括部は安全運航本部に加え、3営業本部（ドライバルク営業本部、エネルギー輸送営業本部、製品輸送営業本部）のいずれにも属する。
 (※2) 製品輸送営業本部に属するのはフェリー・内航RORO船事業に限る。
 (※3) メキシコ
 (※4) ブラジル、チリ
 (※5) トルコ、ドイツ
 (※6) 中国、香港、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム、オーストラリア、UAE